

各 位

上場会社名	株式会社IDOM
代表者	代表取締役社長 羽鳥 由宇介
(コード番号)	7599)
問合せ先責任者	財務・IRチームリーダー 松本 雅之
(TEL)	03-5208-5503)

業績予想の修正及び配当金決定方法の一部見直しに関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年1月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。また、配当金決定方法の一部見直しを行うことといたしましたので、合わせてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	243,500	7,600	7,100	4,100	40.43
今回修正予想(B)	252,600	4,600	4,400	2,500	24.65
増減額(B-A)	9,100	△3,000	△2,700	△1,600	
増減率(%)	3.7	△39.5	△38.0	△39.0	
(ご参考)前期実績 (平成28年2月期)	210,085	7,542	6,835	4,111	40.55

平成29年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	185,300	6,800	4,100	40.43
今回修正予想(B)	198,400	4,650	2,900	28.60
増減額(B-A)	13,100	△2,150	△1,200	
増減率(%)	7.1	△31.6	△29.3	
(ご参考)前期実績 (平成28年2月期)	179,367	6,384	3,949	38.95

修正の理由

当期(平成29年2月期)における全直営店の小売台数は95,333台と、展示販売店舗での取り扱いが増えたため、当初計画95,000台を達成いたしました。

一方で、新車市場の低迷が続く外部環境のなかで、ガリバー店舗における買取台数の減少を抑制するために、広告宣伝費をはじめとする集客コストを一層増加いたしました。この結果、買取台数は増加し計画を上回ったものの集客コスト対効果が悪化することになりました。

また、西オーストラリア地域で新車ディーラーを運営する連結子会社Buick Holdings は、西オーストラリア地域における新車市場の低迷を受け、新車販売台数が減少しました。当期の新車市場は、各月において前年同月比マイナスで推移し、とりわけ第4四半期においてはマイナス幅が拡大しました。

以上の結果、連結営業利益の通期予想は4,600百万円と、前回計画を3,000百万円減少する見込みとなりました。営業利益の減少に伴い、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は減少する見込みとなりました。

当期の配当金について

当社の配当政策は、連結業績に連動して配当金を決定する「業績連動型配当」を採用しております。今後もこの方針に変更はありませんが、当期(平成29年2月期)末より以下のとおり、配当金決定方法を一部見直すことといたします。

従来は、原則として、「当期の連結当期純利益×30%」で算出される金額を配当総額とし、当期の1株当たり配当金を決定しておりました。これに対し今後(当期末以後)は、原則として、「前期の連結当期純利益×30%」で算出される金額を配当総額とし、当期の1株当たり配当金を決定いたします。

上記の見直し後の新たな配当金決定方法で計算をすると、当期の年間配当金は1株当たり12円と計算され、当期の連結当期純利益(親会社株主に帰属する当期純利益)は前回発表予想と比べ減少する見込みとなりましたが、結果として、当期の配当予想に修正はございません。

従来の配当金決定方法では、当期の連結当期純利益に連動して配当金が決まるため、当初公表する配当金予想は、当期業績の実績に応じて常に修正の可能性があります。これに対し、今後の配当金決定方法では、既に確定した前期業績の実績をもとに当期の配当金を決定するため、当初公表する配当金予想は、原則として当初公表以後に修正することはありません。

以 上